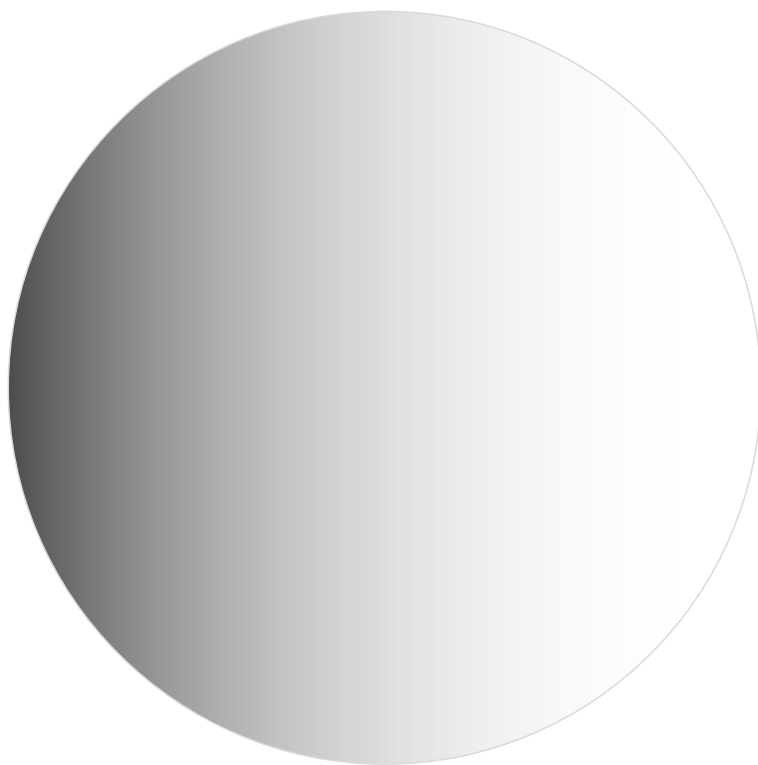


Gateball's Text

ゲートボールテキスト



公益財団法人

日本ゲートボール連合

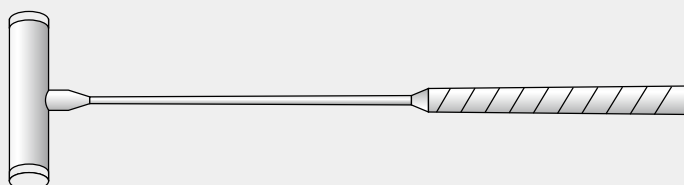


FOR ALL SPORTS OF JAPAN

スポーツ振興くじ助成事業

目次

フェアプレイとは	2
アンチ・ドーピングを通して考える	4
指導にあたっての注意	5
競技規則 2011 改正点抜粋	6
競 技	6
審判員	10
審判実務要領の一部改正について	11
反則処置早見表	12
審判員制服／アイテムのご案内	14
記録表の記入方法（例）	16





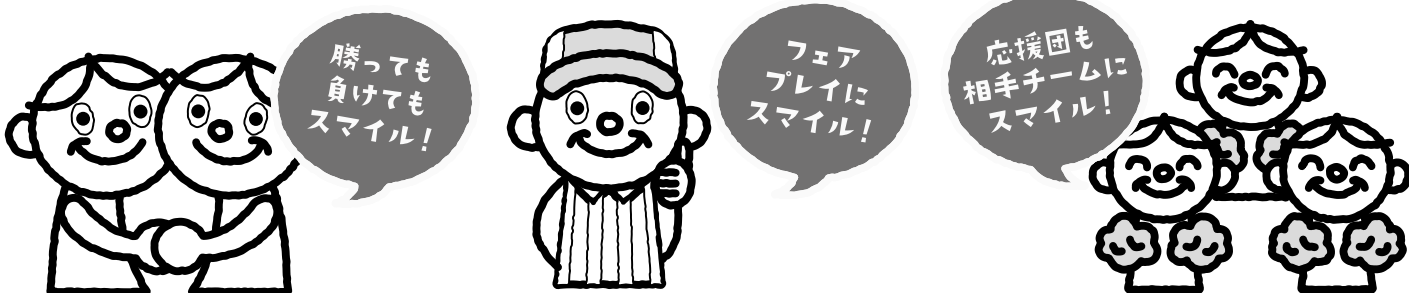
フェアプレイとは、ス

そして、人々の心をとらえ、
成長させてくれるもの。

スポーツは、なぜ楽しいのか。
スポーツは、なぜ感動を呼ぶのか。
スポーツは、なぜ気持ちいいのか。
スポーツは、なぜ夢中にさせるのか。

ただ勝利することだけが成功であり、喜びであるなら、
人々は、これほどまでスポーツを必要とはしないはず。
強くなること、うまくなることだけが、目的であるなら、
人々は、これほどまでスポーツに打ち込んだりしないはず。

スポーツは一人ではできない。
いっしょに切磋琢磨する仲間がいる。
同じ目標に向かってしのぎを削り合う対戦相手がいる。
そして、審判や応援してくれる人達、
さらには環境を整えてくれる人達も欠かせない存在だ。



スポーツの真ん中にあるもの。

スポーツをする。試合をする。
そこには、自分自身の努力がある。
チームメイトと築いた信頼がある。
対戦相手への敬意がある。
支えてくれる人達への感謝がある。

これらは人格をつくることにおいて、
なくてはならないとても大切なものだ。
そして、これらこそが、
フェアプレイの真ん中にあるものだと、
私たちは考える。
スポーツが楽しく、感動を呼び、
気持ちよく、夢中にさせるのも、
このフェアプレイの気持ちがあるからこそだ。

フェアプレイ宣言

私は、
スポーツを愛する者として、
何ごとにも全力で取り組み、
精神・肉体ともに
成長させることに努めます。

そして、フェアプレイを通じて
思いやり、誇り、努力、勇気を
最大限に発揮し、
その力を人に、地域に、
社会のために生かしていきます。

そのための具体的な行動として、
「あくしゅ、あいさつ、ありがとう」
を実践していくことを宣言します。

**世の中にフェアプレイを浸透させるために、
はじめての一步をあなたから。**

公益財団法人日本体育協会発行「フェアプレイで日本を元気に」リーフレットから抜粋
URL: <http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data0/fair/>

アンチ・ドーピングを通して考える

ースポーツのフェアとは何かー

私たちが守りたい大切なスポーツの価値の基盤 ～努力するからこそ得られる本当の勝利～

スポーツを通して、何か得られたものはありますか？ 答えは人それぞれ違うと思います。スポーツを通して、ルールを守ることの大切さ、チームワークの大切さなど多くのことを学び、また一生思い出となるようなすばらしい経験を持ち、スポーツの価値を感じたことはないでしょうか。

自分を信じて最善の努力をし、懸命に勝利を目指そうとすることー Excellence

仲間を信じることー Friendship

対戦相手や仲間を尊敬することー Respect

これらは、国や国籍、時間の経過を超えて尊重されている、スポーツの価値の基盤。みなさんが決められたルールに従い、全力でスポーツに打ち込んできたからこそ、得られたものです。

Q. ドーピングとは何ですか？

ドーピングとは、スポーツの価値・精神に反する行為です。競技力を高めるために禁止された薬物や方法などを使用する等、全世界的に定められたルールに基づき、厳しく禁止されています。ドーピング検査で禁止物質が検出されれば、治療目的でその物質を使用していた場合でも制裁が課されることもありますので、ルールをよく理解しておきましょう。

Q. ドーピングは何故いけないのですか？

全世界で共有されているスポーツ全体のルールです。1) フェアプレーの精神に反する、(2) アスリートの健康を害する、(3) 反社会的行為である、といった、スポーツの価値の根幹を損なう、スポーツに正々堂々と向かうことができない「ずる」くて「危険」な行為でもあります。

Q. 風邪のときはどうしたらよいですか？

禁止物質を含まない薬がありますので、症状に応じて医師から適切な処方を受けてください。その際には、(1) 自分がドーピング検査の対象となる可能性があること (2) 禁止物質が含まれていない薬を処方してもらうことを伝えてください。

公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構ホームページから抜粋

URL: <http://www.playtruejapan.org/>

指導にあたっての注意

指導者は一方的に教えるのではなく、競技者の自主性を尊重し、ともに考えながら指導することで、お互いの信頼関係を構築していくことが大切である。

競技者のプレーに対して、決して怒ったり、叱ったりするのではなく、良いところを見つけて誉めて教えることが効果的であり、できなかったことを注意するのではなく、できたことを誉めるようにし、意欲を持たせることが必要である。

ゲートボールの普及を妨げている要因の一つに、言葉による暴力とも解釈できるようなことがあげられる。不必要な言動から競技者を傷つけてしまい「ゲートボール嫌い」「ゲートボール離れ」が起きているのも現実の問題である。

競技者のミスを責めるのではなく、そのミスを寛容に受け止め、逆にスキルアップへと導くことこそが重要である。

また、指導者は、競技者の安全確保について十分に配慮し、危険なことは、可能な限り排除しておかなければならない。

ゲートボールは、ほかのスポーツと比較して安全なスポーツと考えられているが、ゲートボール活動中の事故としては、「施設（コート）等の整備不良による傷害」「競技者の不注意行動による傷害」「落雷等気象の急激な変化による傷害」「熱中症」「脳疾患」「心疾患」等があげられる。

このような事故に関しての事例、防止方法等情報を収集し、不測の事態に備えて十分な安全対策を講じておきたい。

競技規則 2011改正点抜粋

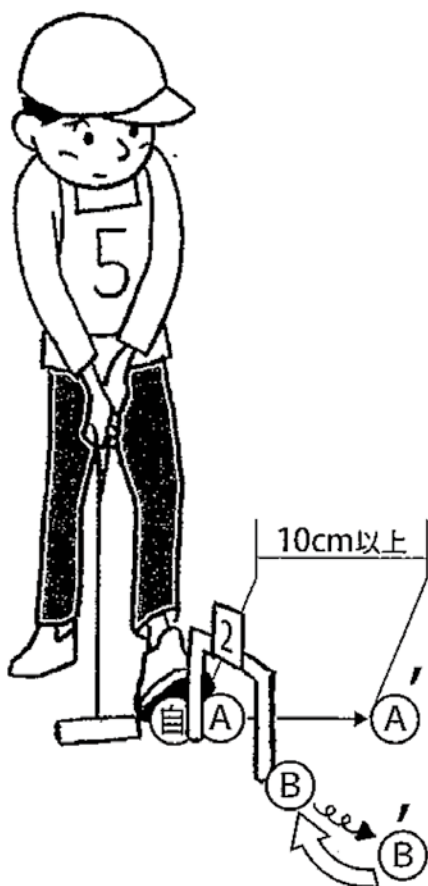
競技

◆第11条 ボールの移動

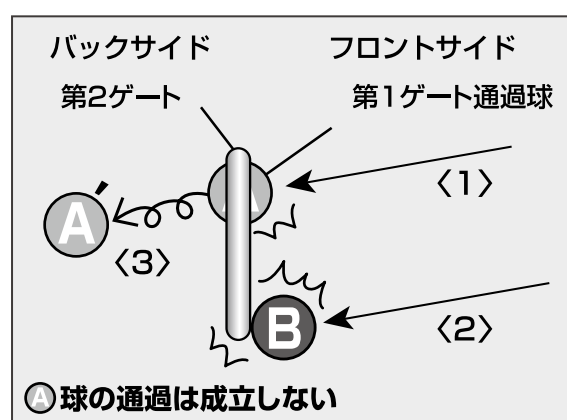
第2項 無効な移動

○ゲートまたはゴールポールを介在した間接的なボールの移動は、すべて無効な移動とする。

○例1 / 他球Aへのタッチ成立後、他球Bが接触して静止しているゲートの反対側の脚に自球が接触して静止した。他球Aを拾ってスパーク打撃したところ、他球Aの外縁が自球の外縁から10cm以上離れ、スパーク打撃の衝撃で、他球Bが移動した。この場合、他球Bはゲートまたはゴールポールを介在した間接的なボールの移動となり、無効となるため、打撃違反の反則にはならない。



○例2 / インボールがフロントサイドから移動し、次に通過を成立させるゲートに接触して静止した。その後、別のボールがそのゲートに当たり、ゲートに接触していたボールがバックサイドに移動してゲート線を完全に通りすぎた。この場合、ゲートを介在した間接的なボールの移動は無効な移動となるため、ゲートに接触していたボールのゲート通過は成立しない。



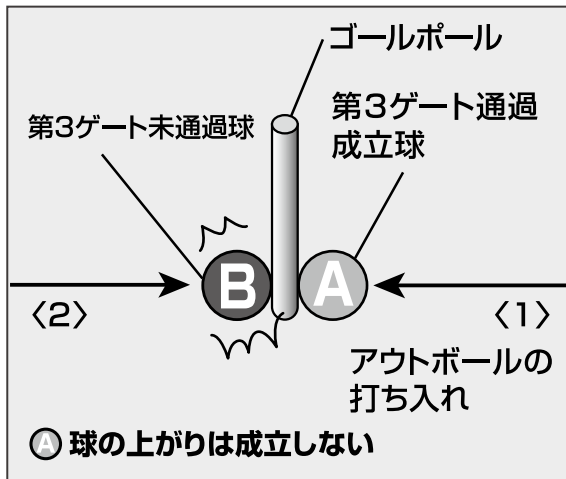
●次の場合は、ゲートに接触していたボールの移動が有効になる。

- a 別のボールが、ゲートに接触していたボールに当たってからゲートに当たった。
- b 別のボールが、ゲート線に接触していたボールとゲートに同時に当たった。

○例3 / 第3ゲート通過が成立しているアウトボールを打ち入れたところ、ゴールポールに接触して静止した。その後、第3ゲート通過が成立していないボールがゴールポールに当たった。この場合、ゴールポールを介在した間接的なボールの移動は無効となるため、ゴールポールに接触していたボールの上がり成立しない。

●次の場合は、ゴールポールに接触していた第3ゲート通過成立球の移動が有効になり、上がり成立する。

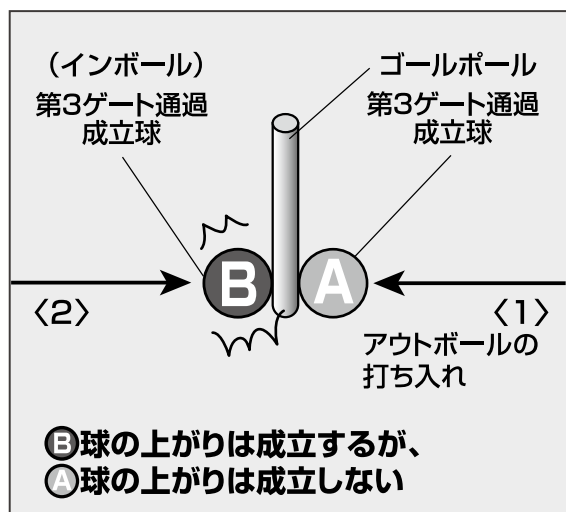
- a 第3ゲート通過が成立しているボールが、ゴールポールに接触していた第3ゲート



通過成立球に当たってからゴールポールに当たった。

b 第3ゲート通過が成立していないボールが、ゴールポールに接触していた第3ゲート通過成立球とゴールポールに同時に当たった。

- **例4** / 第3ゲート通過が成立しているアウトボールを打ち入れたところ、ゴールポールに接触して静止した。その後、第3ゲート通過が成立しているボールがゴールポールに当たった。この場合、後からゴールポールに当たったボールの上がり成立し、ゴールポールに接触していたボールの上がり成立しない。



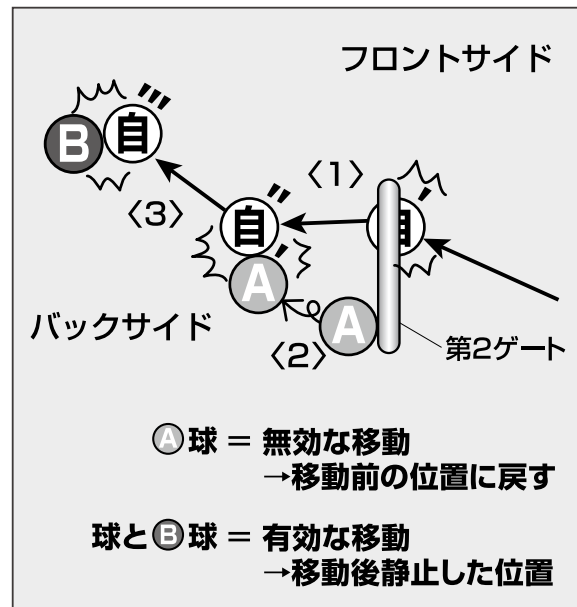
● 次の場合は、後からゴールポールに当たったボールと、ゴールポールに接触していたボールの、双方の上がり成立する。

a 第3ゲート通過が成立しているボールが、ゴールポールに接触していた第3ゲート

通過成立球に当たってからゴールポールに当たった。

b 第3ゲート通過が成立しているボールが、ゴールポールに接触していた第3ゲート通過成立球とゴールポールに同時に当たった。

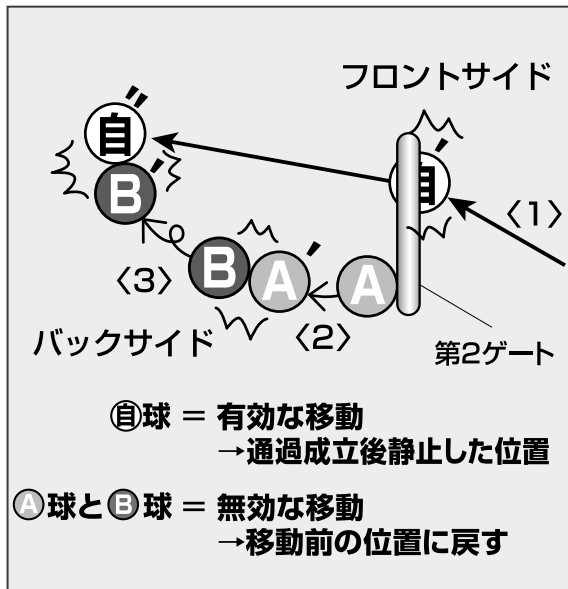
- **例5** / 他球Aが接触して静止しているゲートに自球が当たり、自球のゲート通過が成立した後、自球は、ゲートに当たった衝撃で移動した他球Aに当たり、その後、他球Bに当たった。この場合、他球Aは無効な移動として移動前のゲートに接触して静止していた位置に戻すが、自球と他球Bは有効な移動として移動後静止した位置とし、他球Bへの通過タッチが成立する。



- **例6** / 他球Aが接触して静止しているゲートに自球が当たり、自球のゲート通過が成立した後、他球Aはゲートに当たった衝撃で移動して他球Bに当たり、その後、自球が他球Bに当たった後に静止した位置とするが、他球Aと他球Bは無効な移動として移動前の位置に戻し、自球は通過のみが成立する。

● 次の場合は、他球Bの移動が有効になり、他球Bは当たった後に静止した位置とし、自球の通過タッチは成立する。

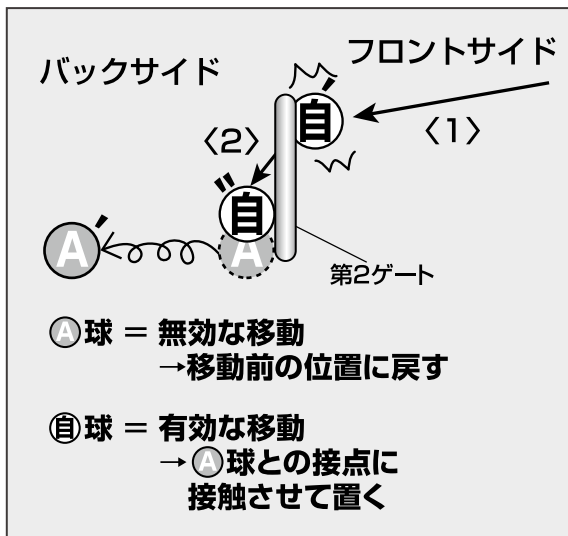
a 有効な移動の自球と無効な移動の他球A



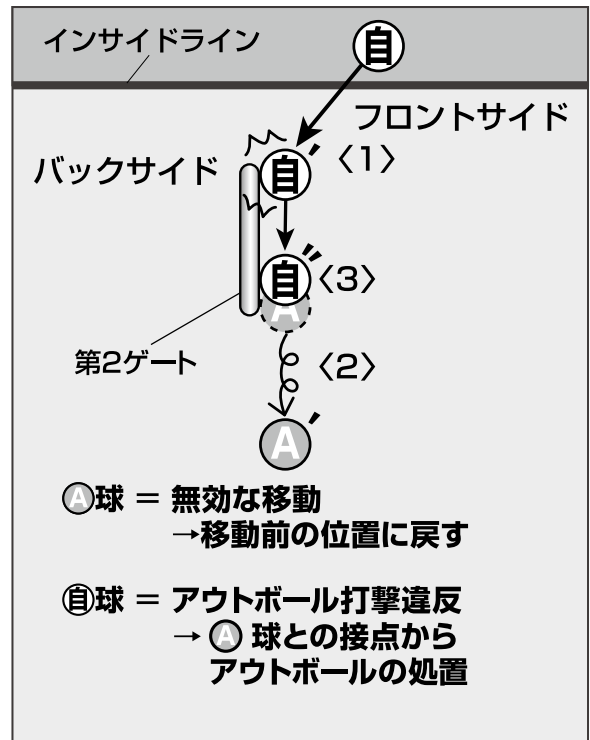
が、同時に他球Bに当たった。

b 有効な移動の自球が他球Bに当たってから、無効な移動の他球Aが他球Bに当たった。

- 例7 / 他球Aが接触して静止しているゲートに自球が当たり、自球のゲート通過が成立した後、ゲートに当たった衝撃で移動した他球Aがあった（移動前の）位置に自球が静止した。この場合、他球Aを移動前の位置に戻し、自球は他球Aとの接点に接触させて置くが、間接的に移動した他球Aへのタッチはその時点で成立せず、自球の通過のみが成立する。



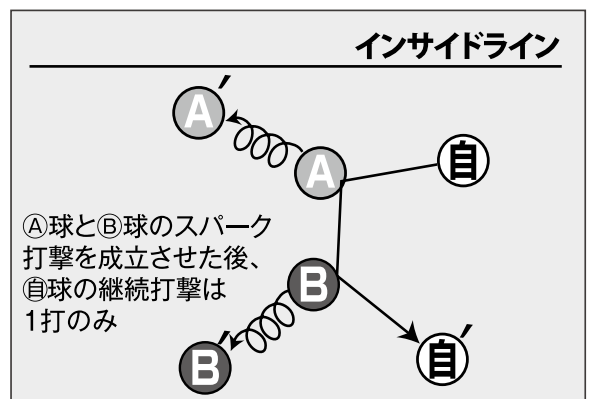
- 例8 / アウトボールの自球を打撃した際、他球Aが接触して静止しているゲートに自球が当たり、ゲートに当たった衝撃で移動した他球Aがあった（移動前の）位置に自球が静止した。この場合、アウトボール打撃違反とし、他球Aを移動前の位置に戻し、自球は他球Aとの接点からアウトボールの処置をする。



◆第12条 打撃

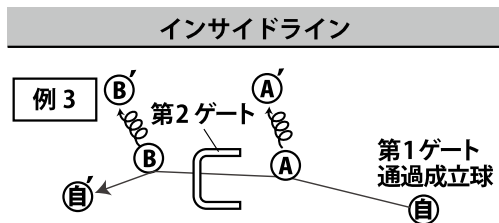
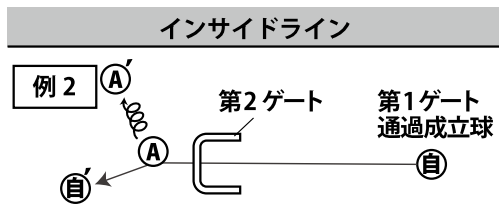
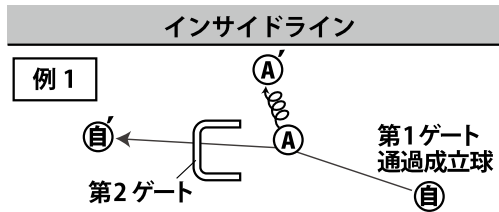
第3項 継続打撃の権利の発生

- 継続プレーの権利の発生を、継続打撃の権利の発生とし、一度の打撃で2つ以上の他球にタッチし、タッチしたすべての他球のスパーク



ク打撃を成立させても、その後の継続打撃は1打のみとする。

- 第2ゲートまたは第3ゲートにおいて、通過タッチまたはタッチ通過の成立後、すべてのスパーク打撃にかかわる行為が終了した後、2打の継続打撃の権利が発生する。



いずれも、すべてのスパーク打撃にかかわる行為が終了した後、2打の継続打撃の権利が発生する。

◆第13条 ゲート通過

第1項 ゲート通過の成立

- 打撃したアウトボールがフロントサイドから移動して次に通過を成立させるゲートのゲート線にかかって静止した場合、その後のプレーでそのボールがバックサイドに移動し、ゲート線を完全に通りすぎても、そのボールのゲート通過は成立しない。
- スパーク打撃違反のセット後の反則により、セット時の位置に処置された他球の外縁がゲート線にかかっている場合、その後のプレーでそのボールがバックサイドに移動し、ゲート線を完全に通りすぎても、そのボールの第2ゲート通過および第3ゲート通過は成立しない。

◆第16条 スパーク打撃

第2項 スパーク打撃にかかわる行為

- スパーク打撃にかかわる正当プレーのうち、セットをやり直す条文を、自球を踏んだ状態からセットした他球を拾い、セットをやり直すこととする。
- セットした自球が足下で移動したことにより、ゲート通過や上がり、タッチのプレー等に有利になるか、不利になるかを問わず、これらのプレー等に影響を与える場合は、審判員が移動前の位置に戻る。

第4項 スパーク打撃違反

- セットをやり直すときに、自球を踏んでいない状態でセットした他球に手を触れた場合、スパーク打撃違反の反則とする。(自球はアウトボールの処置をする。)

◆第17条 インボールとアウトボール

第1項 インボール

- アウトボールがインボールになる時点を、インナーフィールドに静止した時点とする。
- ◎打撃したアウトボールがインナーフィールドに入った後、コート状況等によりアウトフィールドに出て、再度インナーフィールドに入って静止しても、そのボールはアウトフィールドに出た位置からアウトボールの処置をする。

第2項 アウトボール

- 直近外という名称を削除して、アウトボールの処置とし、処置する位置を明示した。

審判員

◆第23条 審判員

第3項 主任の任務

- 「先攻、後攻の確認」を「コイントスおよび先攻、後攻の確認」とした。
- 「打撃の通告」を「打順通告」とした。
- 「競技者の交代の承認と記録員への通告」を主審の任務とし、「競技者の交代の承認、宣告」とした。
- 「競技中断時のタイムの宣告および再開時のプレーの宣告」を挿入した。

第4項 主審と副審の共有する任務

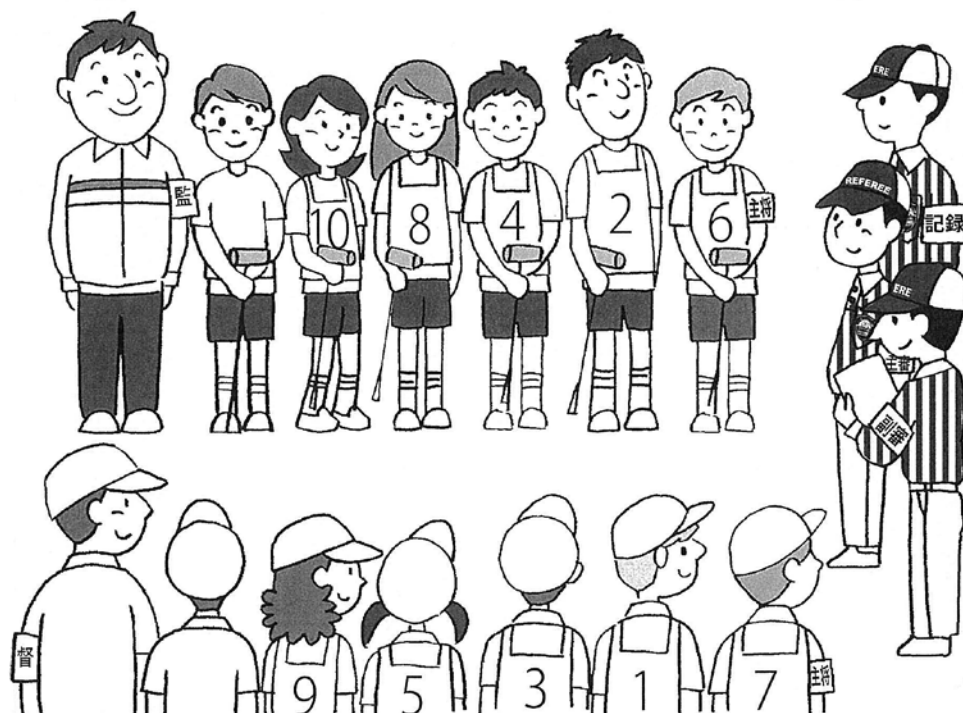
- 「両チームのオーダーの確認」を「オーダー表の記載内容とオーダーの確認」とした。
- 「競技の妨害に対する注意」を「監督および競技者の基本的な遵守事項を遵守していない者に対する注意」とした。
- 先攻、後攻の確認は、主審の任務に移行した。
- 競技者の交代の承認と記録員への通告は、主審の任務に移行した。

第6項 記録員の任務

- 記録員の任務を次のとおりとした。
 - ◎競技場の点検
 - ◎記録表への必要事項の記入
 - ◎ゲート通過の成立と上がりの成立の確認と復唱
 - ◎主審または副審からの、記録に関する確認への応答
 - ◎判定、宣告、通告、処置に関する主審、副審への助言および補佐
 - ◎競技者の交代の確認と主審への助言
 - ◎競技時間の計測
 - ◎競技時間経過（15分前、10分前、5分前、競技時間終了）の通告
 - ◎アウトボールの判定、宣告、処置
 - ◎監督および競技者の基本的な遵守事項を遵守していない者に対する注意

第7項 線審の任務

- 線審の任務を次のとおりとした。
 - ◎競技場の点検
 - ◎判定、宣告、通告、処置に関する主審、副審への助言および補佐
 - ◎アウトボールの判定、宣告、処置
 - ◎監督および競技者の基本的な遵守事項を遵守していない者に対する注意



審判実施要領の 一部改正について

〔Ⅱ〕審判員の服装および携帯品

1. 審判員の服装および携帯品

- 審判服／ウインドブレーカーを審判員制服のアイテムとして導入した。
- 審判靴／運動靴とすることを明示した。
- 携帯品／各審判員ともマーカー(一時移動するボールの位置をマークする補助具)とスケール(判定を正確にするための補助具。大きさ7.5cm×10cm)を導入した。

〔Ⅲ〕基本的な競技進行

1. 競技の準備

- 先攻・後攻の決定／コインの表・裏を主審が任意に指定した後に、主審がコイントスする。
- 競技開始前の確認と点検
 - ・整列／主将の整列位置は、オーダーにかかわらず、チームの列の審判員側とする。
 - ・オーダーの確認／主将の確認は、副審が「主将」と述べるのに続き、主将が「○番、○○」と、打順番号と姓名を名乗る。主将以外の者の確認は、副審が順に打順番号・交代・監督を述べるのに続き、該当する競技者・交代競技者・監督が姓名を名乗る。

4. 競技終了

- ゲームセットの宣告／ゲームセットの際、主審・副審・記録員はコート中央付近に立ち、主審がスタートエリアに向かって宣告する。

5. 競技者の交代

- 競技者の交代／監督からの申し出を記録員が受け、記録員が確認して主審に助言し、主審が交代を承認・宣告する。

7. 勝敗の決定

- 記録内容の確認／主将の整列位置は、オーダーにかかわらず、チームの列の審判員側とする。
- 勝敗の決定／勝ったチームの総得点を、終了の挨拶の後に主審が○でかこむ。

10. 競技没収

- 不正出場／交代して退いた競技者がその競技で再びプレーした場合は「不正出場」とし、競技没収する。

11. 打者のプレーと権利

- 打者のコートへの入場と退出／打者以外の者がコートに入り、審判員の注意にもかかわらず同一チームの者がその注意にしたがわない場合、主審は競技妨害として処置する。

12. アウトボール

- アウトボールの判定・宣告／状況に応じ、記録員・線審も判定・宣告する。
- アウトボールの処置／状況に応じ、記録員・線審も処置する。

〔Ⅳ〕基本的な主審と副審の連係

4. 無効な移動にかかわる 主審・副審の留意事項

- 無効な移動／打者のスティックがゲート(またはゴールポール)に触れた場合や、ボールがゲート(またはゴールポール)に触れた場合など、ゲートまたはゴールポールを介した間接的なボールの移動を無効な移動とする。

5. 打撃にかかわる主審・副審の連係

- 打者の申し出による一時移動／スタート打撃の際、第1ゲートのゲート線からスタートエリアまでのフロントサイドにあるボールと、第1ゲートのゲート線からボール1個分以内までのバックサイドにあるボール、プレーに支障をきたすと判断したアウトボールのみ、一時移動の対象とする。

※記録表の記入方法については、16P参照。

【反則処置早見表】

1. 反則をした場合は、打者の権利は失われる。

2. 反則プレーまたは無効プレーにより移動したボールは、自球のアウトボールの処置を除き、すべて移動前の位置に戻す。

第9条 打者のプレーと権利 / 第2項 タイムオーバー

反則の内容	自球の処置	他球の処置
(1) 10秒以内に打撃またはスパーク打撃しなかった場合	タイムオーバーの反則が発生した時点の位置とする	反則以後に移動したボールは、移動前の位置に戻す
※・スパーク打撃にかかわる行為中にタイムオーバーの反則をした場合は、その状況により、第16条第4項スパーク打撃違反2.の処置を適用する。 ・タッチ後静止した位置に処置した他球の外縁が自球の外縁から10cm以上離れていない場合やセットしてからスパーク打撃成立前までの反則の場合、自球はタッチ後静止した位置からアウトボールの処置をする。 ※・スタート打撃時に反則になった場合、自球はフィールドから取り除く。		

第12条 打撃 / 第4項 打撃違反

反則の内容	自球の処置	他球の処置
(1) 押し打ちをした場合	移動前の位置に戻す	打撃違反により移動したボールは、移動前の位置に戻す
(2) 二度打ちをした場合		
(3) スティックのフェイス以外で自球を打った場合		
(4) スティックを足で蹴って自球を打った場合		
(5) スティックを手で叩いて自球を打った場合		
(6) スティックのヘッドに手を触れたまま自球を打った場合	移動前の位置に戻す	打撃違反により移動したボールは、移動前の位置に戻す *タッチした他球は、タッチ後静止した位置とする
(7) 土、芝生等をスティックで叩いて、間接的にボールを移動させた場合		
(8) タッチ後、スパーク打撃の権利が発生する前に、静止している自球を打った場合		
(9) スパーク打撃の権利が発生したにもかかわらず、スパーク打撃しないで自球を打った場合	移動前の位置に戻す	打撃違反により移動したボールは、移動前の位置に戻す *スパーク打撃した他球は、スパーク打撃後静止した位置とする
(10) スパーク打撃が成立し、継続打撃の権利が発生する前に自球を打った場合		
(11) スタート打撃のとき、自球をフィールドのスタートエリア外に置いて打った場合	フィールドから取り除く	打撃違反により移動したボールは、移動前の位置に戻す
(12) 静止している他球にスティックが触れた場合	静止した(静止している)位置とする	打撃違反により移動したボールは、移動前の位置に戻す
(13) 移動中の他球にスティックが触れた場合	静止した位置からアウトボールの処置をする	*触れた他球は、スティックに触れた位置に戻す
(14) 二度打ちを除き、移動中の自球にスティックが触れた場合	スティックに触れた位置からアウトボールの処置をする	打撃違反により移動したボールは、移動前の位置に戻す
※・スパーク打撃にかかわる行為中に打撃違反の反則をした場合は、その状況により、第16条第4項スパーク打撃違反2.の処置を適用する。 ・タッチ後静止した位置に処置した他球の外縁が自球の外縁から10cm以上離れていない場合やセットしてからスパーク打撃成立前までの反則の場合、自球はタッチ後静止した位置からアウトボールの処置をする。 ※・スタート打撃時に反則になった場合、自球はフィールドから取り除く。		

第15条 タッチ / 第4項 二度タッチ

反則の内容	自球の処置	他球の処置
(1) 継続打撃中に、スパーク打撃した他球にさらに打撃してタッチした場合	二度タッチした位置からアウトボールの処置をする	二度タッチにより移動したボールは、移動前の位置に戻す

第16条 スパーク打撃 / 第4項 スパーク打撃違反

反則の内容	自球の処置	他球の処置
(1) タッチした他球を拾った後からスパーク打撃するまでに、その他球により、直接、自球や別の他球を移動させた場合	タッチ後静止した位置とする(タッチ後静止した位置に処置した他球の外縁が自球の外縁から10cm以上離れていない場合やセット後の反則の場合、自球は、タッチ後静止した位置からアウトボールの処置をする)	スパーク打撃違反により移動したボールは、移動前の位置に戻す *セット前: タッチした他球は、タッチ後静止した位置とする *セット後: セットした他球は、セット時の位置とする
(2) 自球を踏み損なって自球が足下から離れた場合	タッチ後静止した位置とする(タッチ後静止した位置に処置した他球の外縁が自球の外縁から10cm以上離れていない場合やセットしてからスパーク打撃成立前までの反則の場合、自球は、タッチ後静止した位置からアウトボールの処置をする)	スパーク打撃違反により移動したボールは、移動前の位置に戻す *セット前: タッチした他球は、タッチ後静止した位置とする *セット後: セットした他球は、セット時の位置とする *スパーク打撃成立後: スパーク打撃した他球は、スパーク打撃後静止した位置とする
(3) セットをやり直すときに、自球を踏んでいない状態で、セットした他球に手を触れた場合		
(4) セットした他球から手を離さないで、スパーク打撃した場合		
(5) 踏み足だけを打った場合	タッチ後静止した位置からアウトボールの処置をする	スパーク打撃違反により移動したボールは、移動前の位置に戻す *セットした他球は、セット時の位置とする
(6) スパーク打撃して、スパーク打撃した他球の外縁が自球の外縁から10cm以上離れることなく、スパーク打撃した他球と自球がインボールとして静止した場合		
(7) スパーク打撃成立後、スパーク打撃した他球がゲートまたはゴールボール等に当たって反転し、スパーク打撃した他球と自球が接触した状態でインボールとして静止した場合	スパーク打撃後、他球と接触して静止した位置からアウトボールの処置をする	スパーク打撃違反により移動したボールは、移動前の位置に戻す *スパーク打撃した他球は、スパーク打撃後、自球と接触して静止した位置とする
(8) 複数の他球にタッチ後、1球目のタッチした他球を持ったあとにスパーク打撃の順序を変更した場合	タッチ後静止した位置とする(タッチ後静止した位置に処置した他球の外縁が自球の外縁から10cm以上離れていない場合やセット後の反則の場合、自球は、タッチ後静止した位置からアウトボールの処置をする)	スパーク打撃違反により移動したボールは、移動前の位置に戻す *セット前: タッチした他球は、タッチ後静止した位置とする *セット後: セットした他球は、セット時の位置とする
(9) 自球が3つ以上のタッチした他球と接触して静止した状態から2球目以降にスパーク打撃する他球を一時移動する場合を除き、タッチした複数の他球に同時に触れた場合	他球と接触して静止した位置からアウトボールの処置をする	
(10) 自球とタッチした他球が接触しているときに別のタッチした他球に触れた場合	他球と接触して静止した位置からアウトボールの処置をする	
(11) タッチした他球をアウトフィールドに置いて、スパーク打撃した場合	タッチ後静止した位置とする(タッチ後静止した位置に処置した他球の外縁が自球の外縁から10cm以上離れていない場合、自球は、タッチ後静止した位置からアウトボールの処置をする)	スパーク打撃違反により移動したボールは、移動前の位置に戻す *タッチした他球は、タッチ後静止した位置とする

第17条 インボールとアウトボール / 第4項 アウトボール打撃違反

反則の内容	自球の処置	他球の処置
(1) アウトボールを打撃して、無効な移動のボールを除くフィールドのボールに当てた場合	アウトボール打撃違反の反則が発生した位置からアウトボールの処置をする	アウトボール打撃違反により移動したボールは、移動前の位置に戻す

第18条 触球違反 / 第1項 触球違反

反則の内容	自球の処置	他球の処置
(1) 静止球に触れた場合	触球違反により移動した自球は、移動前の位置に戻す	触球違反により移動したボールは、移動前の位置に戻す
(2) 移動中の他球に触れた場合	静止した位置からアウトボールの処置をする	触球違反により移動したボールは、移動前の位置に戻す *触球違反した他球は、触球した位置に戻す
(3) 移動中の自球に触れた場合	触球した位置からアウトボールの処置をする	触球違反により移動したボールは、移動前の位置に戻す

※・スパーク打撃にかかわる行為中に触球違反の反則をした場合は、その状況により、第16条第4項スパーク打撃違反2.の処置を適用する。
・タッチ後静止した位置に処置した他球の外縁が自球の外縁から10cm以上離れていない場合やセットしてからスパーク打撃成立前までの反則の場合、自球はタッチ後静止した位置からアウトボールの処置をする。
※・スタート打撃時に反則になった場合、自球はフィールドから取り除く。

審判員制服 / アイテムのご案内

次に紹介する「日本ゲートボール連合認定審判員制服」の購入については、各加盟団体にお問合せください。

<冬用長袖ポロシャツ>

(男女共通モデル)



男女兼用の紺と白の大胆なレフリーストライプの長袖ポロです。三つボタンのかぶり式でレフリーワッペンを固定できる仕様になっています。

XXS~XXLまでの7サイズ展開
通常の吸汗速乾機能と耐洗濯性を2倍にした機能を持つ
高耐久吸汗速乾機能素材
(ポリエステル100%)

価格:4,980円

<夏用長袖ポロシャツ>

(男女共通モデル)



男女兼用の紺と白の大胆なレフリーストライプの長袖ポロです。三つボタンのかぶり式でレフリーワッペンを固定できる仕様になっています。

XXS~XXLまでの7サイズ展開
通気性の高い生地で発汗時のべとつきを抑制する吸汗速乾機能素材
(ポリエステル100%)

価格:4,980円

<男子ニットスラックス(通年)>

(男子専用モデル)



サイドにラインが入ったスポーティーなモデルです。
ウエスト脇ゴム仕様
XS~4XLまでの8サイズ展開
べとつきにくい・体が冷えにくい・サラッとした着心地が特徴のオールシーズン対応の快適吸汗速乾機能素材
(ポリエステル100%)

価格:5,500円

<女子ニットスラックス(通年)>

(女子専用モデル)



サイドにラインが入ったスポーティーなモデルです。
ウエスト脇ゴム仕様
XS~4XLまでの8サイズ展開
べとつきにくい・体が冷えにくい・サラッとした着心地が特徴のオールシーズン対応の快適吸汗速乾機能素材
(ポリエステル100%)

価格:5,500円

＜夏用半袖ポロシャツ＞
(男女共通モデル)



男女兼用の紺と白の大胆なレフリーストライプの半袖ポロです。三つボタンのかぶり式でレフリーワッペンを固定できる仕様になっています。
XXS～XXLまでの7サイズ展開
通気性の高い生地で発汗時のべとつきを抑制する吸汗速乾機能素材(ポリエステル100%)

価格:4,700円

＜レフリーキャップ(通年)＞
(男女共通)



男女共用のメジャーリーグタイプのツバに白いラインが入った六方型のベースボールキャップです。6方のうち正面の2方が紺色でレフリーの刺繍が入り、後ろはストラップでサイズ調整が可能です。フリーサイズになります。
通気性の良好な二重編み構造のラッセルメッシュ使用
(ポリエステル100%)
価格:2,800円

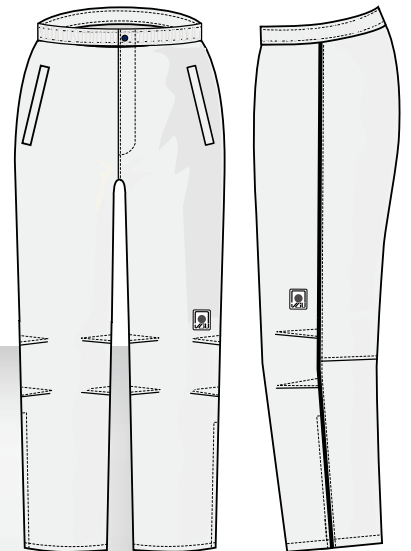
＜ウインドブレーカー:上＞
(男女共通モデル)



男女兼用の格納式フードが付いた前ファスナー式のハーフコートです。
防風、防寒性の他、小雨などにも対応できる便利なものです。
XS～XXLまでの6サイズ展開
軽くてソフトな風合いが特徴の耐久撥水透湿防水機能素材
(ポリエステル100%)

価格:7,200円

＜ウインドブレーカー:下(通年)＞
(男女共通モデル)



下に履いているパンツのポケットに手が入るような仕様の貫通ポケットが付いたウエストゴム仕様のオーバーパンツです。上着同様の機能があります。
XS～XXLまでの6サイズ展開。
軽くてソフトな風合いが特徴の耐久撥水透湿防水機能素材
(ポリエステル100%)

価格:5,500円

記録表の記入方法(例)

- 最終打順は不要とし、記録表から削除することとした。
- 交代競技者の交代打順の記入は「打順－交代した順（競技規則の記載例なら、浅井秋子さんを8－1、高橋英雄さんを8－2）」とし、交代の打順が重複しても特記事項に記載しないようにした。

記録表 / SCORE SHEET

競技名 Competition Name		第27回全日本ゲートボール選手権大会		コート番号 Court No.	07	開始時刻 Start	13:10	
会場名 Ground		県立総合運動場		年月日 Date	平成23年10月29日		試合・回 Match No.	02
						終了時刻 End	13:42	

「1番」の打順通告がある場合、「1」は消す。

先攻チーム / Leading Team						後攻チーム / Following Team					
トス Toss						トス Toss					
No. 競技者名 PLAYERS NAME						No. 競技者名 PLAYERS NAME					
1	山内敏夫	1	✓			2	小島修一	1	✓	✓	✓
3	林周一	3	✓	✓	✓	4	尾崎三郎	4	✓	✓	
5	太田寿一	5	✓	✓	✓	6	松島みよ子	6	✓		
7	清水道子	7	✓	✓	✓	8	渡辺育雄	8	✓	✓	✓
9	山本幸治	9	✓	✓		10	田村芳子	10	✓	✓	✓
交代 5-1	杉山あき子	主将サイン / Cap. Sign	記録点 / TEAM POINTS	主将サイン / Cap. Sign	記録点 / TEAM POINTS	交代 8-2	高橋英雄	交代 8-1	浅井秋子	交代 8-3	後藤好美
交代 8-2		交代 8-1		交代 8-3		交代 8-4		交代 8-5		交代 8-6	
同点決勝 / Tiebreak						決定打順 / Set No.					
2 巡目 6 番											
監督 Manager		河野知男		監督 Manager		石谷幸一郎					

トスが終了した後、先攻・後攻の選択権を得たチームが選択した方に「✓」を記入する。

交代の申し出があったとき、交代する競技者を確認し、「打順－その打順の何番目の交代か」を記入する。

主将を確認し、打順に「○」をつける

主審が交代の宣告をしたときに、仕切り線を記入する。

線審がいる場合は、特記に記入する。

主審 / Chief Referee	副審 / Assistant Referee	記録員 / Recorder	特記 / Remarks
藤井 実	田中 哲雄	中野 隆志	線審 大川 紀子

本連合では、ゲートボール活動中^(※1)の事故を未然に防止するため、事故予防の啓発、事故事例等の情報収集を行っておりますのでご協力をお願いします。

事前に登録し、情報収集にご協力いただいた方に、見舞金をお渡しできる場合もあります。

詳しくは、都道府県加盟団体にお問い合わせください。

※1 ゲートボール活動中とは、日本ゲートボール連合、都道府県加盟団体および傘下の支部や市町村団体が主催、主管、後援する大会や講習会への参加、また参加のための往復の移動をいいます。

発行日 平成25年6月1日 第1刷
発行者 公益財団法人日本ゲートボール連合
発行所 公益財団法人日本ゲートボール連合
東京都港区虎ノ門3-4-10
電話 03-5401-2251 (代表)
印刷 エーアンドエー株式会社

不詳複製 公益財団法人日本ゲートボール連合の
許可なく複製・転載はできません

<http://www.gateball.or.jp/>



このゲートボールテキストは、
スポーツ振興くじ助成金を受けて製作しています。